

富田林市立図書館 2016 夏のお手紙

5年生・6年生



いよいよ夏休み!! 遊んだり宿題やお手伝いをするのも大切だけど、ゆっくりと読書もしてみませんか? 図書館では、たくさんの本が、みなさんをまっていますよ!



『ゴリラが胸をたたくわけ』

やまぎわ じゅいち あべ ちさと
山極 寿一 / 文 阿部 知暁 / 絵

福音館書店



100年以上前、ゴリラが発見されたころ、胸をたたくドラミングは、戦いを宣言し、相手をたおす行動と言われていました。

ドラミングの真実は、おどしでも戦いの宣言でもなかったのです。好奇心を持ったり、興奮したりしたとき、自己主張をしたりするときの行動だったのです。

ゴリラは、ほんとうはやさしい生き物だったのです。



『庭をつくろう!』

ゲルダ・ミュラー / 作 ふしみ みさを / 訳
あすなろ書房

広い庭のある家にバンジャマン一家が引っ越してきました。草を抜き、石を取り除くところから庭作りは始まります。やがて芝が生え、リンゴの老木に実がなりました。野菜と花が増えるにつれ虫や鳥もやってくるようになりました。季節はめぐり、少しずつ理想の庭に近づいていきます。



『こども孫子の兵法』

さいとう たかし かんしゅう
齋藤 孝 / 監修

日本図書センター



『孫子の兵法』は昔の中国の書物です。競争に勝つ方法や、なやみ事を解決する方法が書かれているので、大人に大人気です。そこで、子どもにもわかりやすく書かれたものが登場しました。友だちにいやなことをされたとき、もっとほめられたいとき、将来何になろうかまようとき、この本をひらいてみてはいかがでしょうか。

『ぼろイスのボス』

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ / 作 野口 絵美 / 訳
佐竹 美保 / 絵 徳間書店

マーシャとサイモンの家のぼろイスは、手品セットの液体がこぼれたことから人間に変身し、「ぼろイスのボス」と名のる。変なしゃべり方でやたらぺこぺこおじぎをする。そして困ったことに、次々食べ物や飲み物をほしがり、しゃべり続け、わがままばかり。ボスのせいで台所が火事になり、マーシャたちはボスを元に戻す方法を探す。



『ニレの木広場のモモ館』

たかどの ほうこ ちば ちかこ
高楼 方子 / 作 千葉 史子 / 絵
ポプラ社

5年生の転校生モカとモモと4年生のカンタはニレの木広場で出会う。3人は児童館の掲示板の壁新聞「モモ館」づくりに夢中になり、すっかりなかよくなる。九官鳥の世話をまかされたどろぼうのユキオ。そしてリックンやコータという新たな友達も加わり、かえ玉作戦やどろぼう事件と、はなしはどんどんおもしろくなるよ。



『世界冒険アトラス』

レイチェル・ウィリアムズ / 文 ルーシー・レザーランド / 絵
徳間書店児童書編集部 / 訳 徳間書店

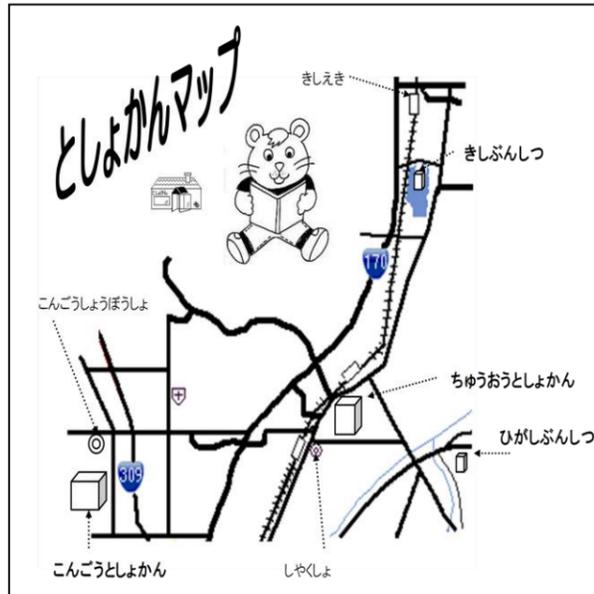
アマゾンの熱帯雨林で動物を観察。フィンランドでオーロラを見る。香港のランタン祭りに参加...さまざまな国の文化や風土を、この本では体験できます。名前も知らない国でやっている遊びをのぞいたり、よく知っているものが実はあの国からやってきていたという発見があったり、まるで世界中を旅している気分になれますよ。



『あつめた・そだてた ぼくのマメ図鑑』

もりぐち みつる
盛口 満／絵・文 岩崎書店

豆・まめ・マメ。マメには色々な種類があります。インゲン、大豆、小豆、ヒヨコマメなど食用のマメ。カラスノエンドウやズメノエンドウなど観賞用のマメ。他に、モダマ、デイゴという聞きなれない名前のマメもあります。この本では、大きさ・色・形の違う数々のマメが緻密なイラストで紹介されています。



『知ってたのしい食べてジュシー くだものノート』

いわさ ゆうこ／作 文化出版局

ふだんよく目にするものから、聞いたこともないものまで、たくさんの種類のくだものが大きな写真と絵で紹介されている本です。実は何月にできるのか、どんな栄養がふくまれているのか、などが詳しく書かれています。くだものを使ったおいしい料理の作り方も載っています。この本を読んで、くだもの博士になろう！



『北をめざして 動物たちの大旅行』

ニック・ドーソン／さく パトリック・ベンソン／え
いだ てつじ／やく 福音館書店

地球の一番北にある北極はとても寒い所ですが、冬から春、夏から秋、また冬と季節が移り変わっていきます。年中北極で過ごしている動物もいますが、季節が変わる中でいろんな植物や食べ物も豊富になり、海を泳いだり、大空を飛び、また歩いて北をめざす動物たちが増えていきます。北極の自然と動物のかかわりについて考えてみよう。



『日本昔ばなし 仙人のおしえ』

おざわ としお さいわ かない だ えつこ
小澤 俊夫／再話 金井田 英津子／絵
くもん出版

むかしあるところに、目の見えない母親とむすこが暮らしていた。むすこは母親の目のなをし方を教えてもらいに仙人を探す旅に出た。途中、長者と百姓と大蛇と世話になり、みんなから仙人に聞いてきてほしいことをたのまれる。苦勞の末、仙人を探し当てるが、答えてくれるのは3つだけ。むすこは、たのまれた事をたずねた。



『アラビアン・ナイトのおはなし』

中川 正文／ぶん 赤羽 末吉／え
のら書店

はるか昔、遠い国のふしぎな話が3つ入っている本です。どんな遠いところへでも飛んで行ける木馬の話「空飛ぶ木馬」は、ペルシアの王子が木馬に乗り冒険にでます。その先で出会った王女と恋におちて結婚しようとするのですが、邪魔が入ってしまい…。ハラハラするアラビアン・ナイトの世界を楽しんでみませんか。



『人生を切りひらいた女性たち 1 医療・科学編』

いけうち さとる かんしゅう
池内 了／監修
教育画劇

女の人が活躍できるようになったのは最近のことです。この本は、女性が活躍することが難しかった時代に、みずから人生をきりひらいた人達を紹介されています。「諦めなどという言葉は私の辞書にはない」これは、クリミアの天使と呼ばれたナイチンゲールの言葉です。彼女たちの人生から生まれた名言にふれてみてください。

